

現場  
代理人  
レポート

# 水橋農地整備事業

## 下条上市団地(水橋工区) 区画整理その1工事

本地区は、富山県中央部の一級河川常願寺川、二級河川白岩川及び上市川沿岸に広がる水田農業地帯です。

しかし、本地区の農地はそのほとんどが10a未満の狭小な区画形状で用排兼用水路となっており、担い手が営農するほ場も散在しているため水管理や草刈り等に多大な労力が生じている等、地域農業の発展に向けての大きな阻害要因となっています。

本工事は、担い手の皆さんが効率的に農業経営を行なえるよう、現況で69枚の小さなほ場を5枚の大区画化ほ場へと整備する整地工A=7.82ha、ほ場の安定取水と排水を可能とする水路工L=1.6km、大型農機の進入を可能とする道路工L=2.14kmが主な工事です。

本工事は、昨年8月に国営水橋事業が着工されて初めての工事となりますので、品質・出来形は勿論のこと現況に応じた工種の選定や工程管理が非常に重要となっています。

また、現場には上市川や下条川が近接していることから地下水位が高く、降雨の際には度々下条川が氾濫して場内に流出する事象が発生したことから、早急な逆流防止対策の措置や雨水の切り回し等の排水対策が工事を行う上で特に重要となっているほか、ほ場内の地盤が想定よりも軟弱であり、場内での重機及び工事車両の仮設走路を確保するための検討や水はけが悪い箇所への暗渠管の布設等、施工する上で様々な課題に直面しました。

11月に入り整地工、水路工は完了し、道路工及び付帯構造物の最終仕上げを行っておりますが、最後の最後まで気を抜かずに職員及び作業員一丸となり、無事故・無災害で竣工を目指します。



### 監督職員からのエール

この工事は、当事業地区の最下流部に位置し、狭小区画のほ場を標準1.0~1.5haへ大区画化を図り、用排水路を分離し、幅員4.0~5.0mの耕作道路を造成し、大型農業機械やスマート農業に対応したほ場整備を行う工事です。

本工事地区は、工事区域上流から下流へ既設の用水路を通水させながらの施工となること、低平地であり地下水位が高く、常に排水を考慮しながら施工する必要があること、また、12月以降は降雪が考えられることから工程管理を十分に検討する必要があること等、現場条件が非常に厳しい工事となっています。このような中、監理技術者の真鍋所長は、自ら現場で協力業者との施工及び工程の調整、丁張作業を行う等、率先して現場をけん引していることや、監督職員や地元関係者とも良好な関係を築いていることに感謝しています。工事も終盤に差し掛かり仕上げに向かう時期となってきますが、このまま無事故・無災害で竣工を迎えることを願っています。

現場代理人

(写真左) 佐藤工業株式会社

現場代理人兼監理技術者 真鍋 凌

監督職員

(写真右) 水橋農地整備事業所

調査設計課長 村上 直樹

